

8. 地域別にみた人口動態

(1) 人口動態総覧

県内地域別にみた人口動態調査の結果(率)は、表14および図13のとおりである。出生率は北勢地域で高く、東紀州地域で低い値となっている。一方で、死亡率は東紀州地域で高く、北勢地域で低い値となっている。

また、婚姻率は北勢地域で高く、合計特殊出生率は東紀州地域で高いなどの特性がみられる。

(2) 死因順位

県内地域別にみた死因順位は、表15のとおりである。全ての保健所管内において、1位「悪性新生物」、2位「心疾患」となっており、3位は「脳血管疾患」、「肺炎」となっている。

表14 地域別人口動態の主要指標

	出生率	死亡率	自然増加率	乳児死亡率	新生児死亡率	死産率			婚姻率	離婚率	合計特殊出生率
						総数	自然	人工			
三重県	8.3	10.6	△ 2.3	2.5	1.1	21.6	10.8	10.8	4.9	1.8	1.47
北勢地域	8.9	8.8	0.1	2.7	1.1	22.4	9.6	12.8	5.3	1.8	1.50
中勢伊賀地域	7.9	10.6	△ 2.6	2.2	1.4	21.2	11.8	9.4	4.7	1.7	1.42
南勢志摩地域	7.5	12.0	△ 4.6	1.7	0.6	19.9	12.3	7.6	4.4	1.7	1.47
東紀州地域	6.0	17.2	△ 11.2	6.5	2.2	25.2	12.6	12.6	3.2	1.7	1.70
四日市市保健所	9.0	9.3	△ 0.3	3.6	1.8	25.4	10.2	15.2	5.7	1.9	1.51
桑名保健所	8.6	8.8	△ 0.2	2.5	0.8	20.3	7.7	12.6	5.0	1.6	1.45
鈴鹿保健所	9.1	8.3	0.8	1.8	0.4	21.0	10.7	10.3	5.3	1.9	1.54
津保健所	8.1	10.5	△ 2.4	2.6	1.3	19.9	9.3	10.6	4.7	1.8	1.43
松阪保健所	8.0	11.3	△ 3.3	2.3	0.6	22.1	13.1	9.1	4.9	1.9	1.46
伊勢保健所	7.0	12.7	△ 5.7	1.1	0.6	17.7	11.6	6.1	4.0	1.6	1.49
伊賀保健所	7.6	10.6	△ 3.0	1.5	1.5	23.3	16.0	7.3	4.7	1.6	1.41
尾鷲保健所	6.0	18.8	△ 12.8	4.4	-	21.6	8.7	13.0	2.8	1.5	1.75
熊野保健所	6.0	15.7	△ 9.7	8.4	4.2	28.5	16.3	12.2	3.5	2.0	1.65

注) ・三重県全体の率の算出には、日本人に関する事件件数を分子、日本人人口を分母として算出している。

・その他の率の算出には、日本人に関する事件件数を分子、外国人を含む総人口を分母として算出している。

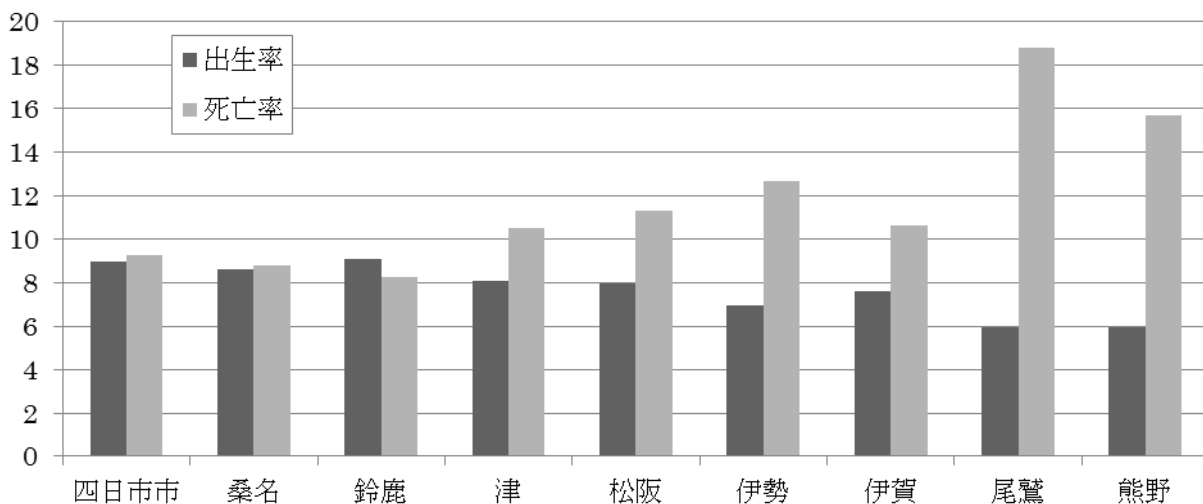


表1.5 地域別にみた死因順位－死亡率（人口10万対）・割合（％）

年齢階級	1		2		3		4		5	
	死因	率	死因	率	死因	率	死因	率	死因	率
全県	悪性新生物	282.3 (27.1)	心疾患(高血圧性を除く)	153.7 (14.7)	脳血管疾患	106.4 (10.2)	肺炎	101.0 (9.7)	老衰	64.7 (6.2)
北勢	悪性新生物	241.6 (27.4)	心疾患(高血圧性を除く)	124.7 (14.1)	脳血管疾患	94.4 (10.7)	肺炎	86.8 (9.8)	老衰	48.6 (5.5)
中勢伊賀	悪性新生物	293.9 (27.8)	心疾患(高血圧性を除く)	151.3 (14.3)	肺炎	109.5 (10.4)	脳血管疾患	98.2 (9.3)	老衰	66.1 (6.3)
南勢志摩	悪性新生物	319.6 (26.5)	心疾患(高血圧性を除く)	188.8 (15.7)	脳血管疾患	122.5 (10.2)	肺炎	108.0 (9.0)	老衰	80.2 (6.7)
東紀州	悪性新生物	429.0 (24.9)	心疾患(高血圧性を除く)	269.7 (15.7)	脳血管疾患	187.5 (10.9)	肺炎	163.1 (9.5)	老衰	137.4 (8.0)
四日市市保健所	悪性新生物	262.3 (28.2)	心疾患(高血圧性を除く)	131.2 (14.1)	脳血管疾患	98.1 (10.6)	肺炎	85.4 (9.2)	老衰	52.9 (5.7)
桑名保健所	悪性新生物	240.4 (27.4)	心疾患(高血圧性を除く)	135.4 (15.4)	脳血管疾患	87.0 (9.9)	肺炎	86.6 (9.9)	老衰	56.9 (6.5)
鈴鹿保健所	悪性新生物	217.4 (26.2)	心疾患(高血圧性を除く)	104.7 (12.6)	脳血管疾患	98.3 (11.8)	肺炎	88.6 (10.7)	不慮の事故	37.3 (4.5)
津保健所	悪性新生物	274.5 (26.1)	心疾患(高血圧性を除く)	151.6 (14.4)	肺炎	116.9 (11.1)	脳血管疾患	104.3 (9.9)	老衰	51.3 (4.9)
松阪保健所	悪性新生物	307.4 (27.2)	心疾患(高血圧性を除く)	178.7 (15.8)	脳血管疾患	117.6 (10.4)	肺炎	113.9 (10.1)	老衰	75.0 (6.6)
伊勢保健所	悪性新生物	330.1 (26.0)	心疾患(高血圧性を除く)	197.5 (15.6)	脳血管疾患	126.6 (10.0)	肺炎	102.9 (8.1)	老衰	84.7 (6.7)
伊賀保健所	悪性新生物	325.2 (30.6)	心疾患(高血圧性を除く)	150.7 (14.2)	肺炎	97.5 (9.2)	老衰	90.1 (8.5)	脳血管疾患	88.4 (8.3)
尾鷲保健所	悪性新生物	482.5 (25.7)	心疾患(高血圧性を除く)	313.7 (16.7)	脳血管疾患	226.7 (12.1)	老衰	195.1 (10.4)	肺炎	152.9 (8.1)
熊野保健所	悪性新生物	378.2 (24.0)	心疾患(高血圧性を除く)	228.0 (14.5)	肺炎	172.8 (11.0)	脳血管疾患	150.3 (9.6)	不慮の事故	92.7 (5.9)

注 ・死因順位の選び方については巻頭の付表を参照。

・死亡率は日本人の事件件数を分子、総人口を分母として算出したものである。

・率の上段は各年齢階級における人口10万対死亡率、下段は各年齢階級の死亡総数に対する割合(%)。